

令和 7 年 7 月定例

中標津町教育委員会議事録

令和7年7月定例中標津町教育委員会

1 日 時 令和7年7月29日（木）10時00分～10時30分

2 場 所 中標津町役場3階301号会議室

3 出席者

教 育 長	山 田 康 司
委 員	義 盛 幸 規
委 員	青 山 幸 子
委 員	細 谷 俊 輔
委 員	高 橋 幸 子
教育部長	山 宮 克 彦
教育指導監	二本柳 千 尋
指導室長	中 川 律 子
管理課長	桐 島 秀 一
学校施設主幹	高 橋 大 樹
学校教育課長	下 村 浩 次
社会教育課長	七 條 隆 志
農業高校事務係長	川 口 進 二
総務係長	三 浦 諒
書 記	鈴 木 佐 奈

4 欠席者

教育指導監	横 山 裕 充
学校給食センター長	加 藤 崇

5 傍聴者 なし

6 議 題

議案第13号 教員の指導力向上に関する連絡会議設置要綱の制定について

議案第14号 スポーツ文化遠征費補助金交付要綱の一部改正について

議案第 15 号 中標津町立北海道中標津農業高等学校遠征費等補助金交付要綱の一部改正について
報告第 3 号 教育委員会職員の人事異動について

【開 会】

○教育長

令和 7 年度 7 月の定例教育委員会を開催いたします。

全員出席ですので、会議は成立します。

本日の署名委員は、細谷委員と高橋委員です。よろしくお願いいたします。

本日の議題は、議案第 13 号 教員の指導力向上に関する連絡会議設置要綱の制定について、議案第 14 号 スポーツ文化遠征費補助金交付要綱の一部改正について、議案第 15 号 中標津町立北海道中標津農業高等学校遠征費等補助金交付要綱の一部改正について、報告第 3 号 教育委員会職員の人事異動についてとなっています。

報告第 3 号は事務局及び教育機関職員の人事に関する内容です。中標津町教育委員会会議規則第 10 条第 1 項第 1 号の規定により、公開しないことにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声あり)

○教育長

それでは、報告第 3 号は公開しないこととします。

議事に入ります。議案第 13 号お願いします。

◎議案第 13 号 教員の指導力向上に関する連絡会議設置要綱の制定について

○管理課長

議案第 13 号 教員の指導力向上に関する連絡会議設置要綱の制定について
ご説明申し上げます。資料は 3 ページになります。

初めに設置目的になりますが、教員全体の指導力向上のため、指導に課題の
見られる教員やその兆候が見られる教員、また初任段階や指導に悩みや不安を
抱える若手教員を含め、学校、教育委員会、教育局が一体となって対応する体
制を構築するものです。

会議の内容は対象教員の指導力や課題の評価に関することのほか、観察授業
の実施、研修状況や成果等について複数回にわたり、協議会を開催することで
より効果的な研修等の実施に努めることとされています。

この度、要綱を制定するのは以上のような理由になります。

附則といたしまして、この要綱は公布の日から施行するものでございます。
以上、議案第 13 号の説明とさせていただきます。

○教育長

議案第 13 号について説明がありました。ご意見、ご質問等はございま
すか。

(委員から「ありません」の発言あり)

○教育長

よろしいですか。それでは議案第 13 号については可決されました。

続いて議案第 14 号、第 15 号関連いたしますので一括して説明をお願いしま
す。

- ◎議案第 14 号 スポーツ文化遠征費補助金交付要綱の一部改正について
◎議案第 15 号 中標津町立北海道中標津農業高等学校遠征費等補助金交付要綱の一部改正について

○社会教育課長

それでは議案第 14 号 スポーツ文化遠征費補助金交付要綱の一部改正について及び、議案第 15 号 中標津町立北海道中標津農業高等学校遠征費等補助金交付要綱の一部改正につきまして、関連がございますので私の方から一括して説明をさせていただきます。

資料につきましては議案書の 4 ページからになりますが、6 ページの新旧対照表の方をご覧願いたいと思います。

まず初めに、今回の一部改正の理由でございますが、今年の 4 月 1 日付けで JR 標津線の代替バス路線の再編に伴いまして、西春別から標茶区間が廃止されたことによって、それぞれの要綱で交通費の積算基準としておりました最寄りの JR 始発駅であった標茶駅までの路線バスの接続がなくなったため、今回、釧路駅を始発駅に変更する必要性が生じていたところでございます。

これによって、十勝管内に遠征する場合、総合振興局が所在する帯広市が交通費補助の積算基準地になるのですが、釧路駅を始発駅とした場合、改正前の規定では特急指定料金は片道 150km 以上対象となっておりまして、標茶駅からであれば、釧路市を除く全道各地への鉄道路線距離は適用となっておりましたけれども、釧路駅に変更した場合、帯広市までは片道 150km を下回り、対象外となってしまいます。

しかしながら、実際には特急指定料金は必要になりますことから、昨年度までの交付実績者との公平性を保つためにも、片道 100km 以上に積算基準を改め対応することが適当であると考えまして、今回一部改正を行うものでございます。改正内容につきましては、第 6 条第 1 項第 1 号エ中改正前 150km を改正後 100km に改めるものでございます。

続いて、議案第 15 号 中標津町立北海道中標津農業高等学校遠征費等補助金交付要綱の一部改正についてですが、9 ページの新旧対照表をご覧いただきたいと思います。

改正の理由につきましては前段でご説明した通りでございますが、改正内容につきましては、こちらは第 5 条第 1 項第 1 号エ中改正前 150km を改正後 100km に改めるものでございます。

最後に附則といたしまして、両方の要綱とも公布の日から施行し、すでに補助金の交付申請も受け付けておりますので、令和7年4月1日に遡って適用させていただき、改正前の対象者が不公平とならないように対応するものでございます。説明につきましては以上になります。

○教育長

議案第14号、第15号について説明がありました。ご意見、ご質問等ございますか。

(委員から「ありません」の発言あり)

○教育長

それでは議案第14号、15号については可決されました。
続いて、報告事項に入ります。報告第3号お願いします。

◎報告第３号 教育委員会職員の人事異動について

非公開

○教育長

以上で議事は終了いたしますが、事務局からその他、報告、連絡などありましたらお願いします。

○二本柳教育指導監

前回の5月の教育委員会会議の件ですね。私はその会議は休んだんですけれども、中学校の進路指導についての話が出たということは聞きまして、その内容が学校として進路指導については流れを希望した方向でやっているのかというような内容だったと思うのですが、それを聞いて私は、はっとしました。

長年中学校の先生をやっていて、当たり前のようにやってきたことだったので、全体でしっかりと確認してから、進路指導やら三者面談等をやっていきましようということが欠けていたのではないかなというふうに思いました。

それでこれは私だけの感覚だろうかということで、各中学校の校長先生方3名に教育委員会に来てもらって確認したところ、各学校とも学校全体で進路指導、三者面談については、こういう方向でやりましょうだとか、進路決定するに当たっては保護者や本人の意見を尊重してやりましょうだとか、そういうことは職員会議全体での議題には上がったことはないとのことだったので、私だけの感覚ではなくて、全部の中学校でほぼほぼそのような全体で確認するということがないまま、今まで来ていることがわかりました。

これは先生方にお任せしているし、子どもたちや親の意見を尊重して進路指導をするというのは当たり前のような感覚でいたので、あえてそこで全体で職員会議で議題として上げることではないんじゃないかという感覚でいました。大体どの学校も三者面談の前に、先生方がその個人とは中学3年生からじゃなくて、中学校に入った段階から進路指導を進めていて、将来高校をどうするという話を個人面談の中でやってきた上で、最後の三者面談ということなので、三者面談だけで面談するのではなくて、その前に何度も担任がその子どもの進路に関して話し合いながら、進路決定していくのが当たり前だと思っていたので、学校であえて全体でやるということはありませんでした。その確認を校長先生方としておりました。

これを良い機会として、各学校とも職員会議で全体で確認しようという話をして、校長先生方もその意見に対して、同意をしてくれました。

具体的に言いますと、最後は三者面談で決定するんだけど、これは本人それから保護者の希望が第一優先であるということ、それからそれぞれの家庭で個

別の案件があるんで、それぞれの家庭のこともしっかりと把握した上で決定していきましょうということ、そして三者面談の前に紙を各家庭に配って、第1希望はどこの高校、第2希望はどこの高校と家庭内でしっかり話合いをしたその書類を学校に提出して、その書類をもって話合いをしていくということで、書類をしっかりと保存しておいて、後で話合いがそんな話ではなかったよというようなことにはならないように、しっかりと各学校で確認をしてから進路決定をしていきましょうということで、校長先生方に集まってもらいそういう話をしたところでございました。

いろいろとそれぞれの家庭の事情も違いますので、一律にとは言えないかもしれませんが、いろいろな場合、もし落ちた場合も想定しながらの三者面談をすること、そして三者面談が最終決定の場であるということで、それからそれぞれの行きたい学校の願書を取り寄せたり、取り寄せたら各家庭に連絡したりしながら、落ちがないように進路指導を進めていきたいということで確認しましたので、報告をさせていただきます。

この件については以上になります。

○教育長

以前、義盛委員からご質問があったと思うんですけど、確認したところ確かにそういう面も否めないということで、良い振り返りのきっかけになったのではないかというふうに教育委員会としては思っております。

義盛委員ありがとうございました。ほかに何かありましたらどうぞ。

○細谷委員

よろしいですか、お疲れ様です。春から気になっていた点がございまして。自分まだ子どもが計根別学園に通っているものですから、学校の環境という部分で気になる場所なんですけど、計根別学園は割かし子どもたちが町の中を歩くことがあるので、普段から声をかけたり、様子を見たりしているんですけど、一つのきっかけはコロナだとは思いますが、挨拶ができない子が非常に多いようで、僕も基本的には子どもたちを見かけたら挨拶しているのですが、子どもたちから自発的に挨拶するというのは非常に少ないんです。どのタイミングで挨拶してくれるかな、すれ違ってしなさそう…こんにちわってやったりするんですけど、挨拶するとしてくれるんですけど、子どもたちからの自発的な挨拶というのがコロナを境に非常に少なくなってきたというのがあります。

まして、その原因が何なのかなと思って。学校に行った時とかもいろいろ様子を見たりするんですけど、やっぱり一番の原因としては先生たちが挨拶を自発的にするっていうのが少なくなっているなということを実感しています。すれ違う時も挨拶しない先生たちが実際にいるんですよ。例えばスーツとか着て学校に行くと割と挨拶してくれるんですが、やはり私服ですとか作業服で学校に行くと挨拶ができない先生が増えてきている感じが否めないのと、後、今ですね、エアコン工事で学校の方に入らせていただいているんですけども、その際、もちろん学校に行った時は先生たちにも、子どもたちにも挨拶してくださいねというのは会社の社員に話すんですけど、社員の方に逆に先生たち挨拶どうって聞いたら、先生たち挨拶してくれませんよと返ってきます。やっぱり先生たちが挨拶に対しての意識が薄い部分で、子どもたちに挨拶しなきゃダメだよという言葉が発せていないですよ。ただ毎年学校の指導方針として、挨拶のできる子どもってどこの学校の指導にも入ってきていると思うんです。実際、計根別学園の部活動もそうなんですけれども、まず最初に挨拶、挨拶をしっかり徹底させるみたいなのところがあるんです。5年生、6年生、7年生とかそういう子どもの多感な時期的なものもあると思うんですけども、挨拶というものは年齢や環境に関わらずしっかりとってほしいなというふうに思って、中標津の子どもたちにはしっかり挨拶のできる人間に、社会に出たときに挨拶できるかできないかは本当に大きなことだと思うので、学校内部でしていただきたいなと思いました。

まずそれが1点なんですけど、2点目が一昨日ですね、ニュースで流れたと思いますが、羅臼町の熊の映像を見られた方もいると思います。国道で雄鹿をくわえて、熊が道路の端まで鹿を引きずっていく動画が流れておりまして、今年に入ってから新聞配達員が住宅街で熊に襲われる事件も起きましたし、つい最近ですと森林公園、ゆめの森公園付近でもずっと熊が出て施設が封鎖になったという現状もあります。

特に丸山小学校は森林公園も近いですし、実際、ほかの学校の区域にしてもどこで熊が出るかというのは人間には想像できないことだと思います。やはり早急に、町内全域の学校で熊に対する授業を実施するというのは、徹底してやっていく必要があるのではないかなと思います。丸山小学校は今年、この後熊の授業があるという話は聞いていますが、例えば事故が起きたら、もっと迅速に動けるとは思うんですが、そうなってからじゃ遅いと思うので、今後北海道で生きてく上でも、熊に対する知識というのは絶対無駄にならないと思うので、し

っかりと中標津町内の小学校で全学年、全クラスでできれば早急に実施いただければと思います。授業の予定も決まっているので、割り込ませるのは非常に難しい部分もあるとは思いますが、やはり子どもの安全を最優先に考えていただいて、知床財団ですとかとうまく連携してやっていただけると非常にありがたいなと思いますので、今後ご検討のほどよろしくお願いいたします。

○教育長

挨拶の件と熊の件と2点ありました。担当部局で何かお話しできることがありましたらお願いします。

○二本柳指導

挨拶につきましては、教育長からの方針で挨拶、掃除、時間を守ることは各学校で徹底しましょうと何年もやっていますので、再度いろんな形で先生方に、まず先生方が率先しないことには、生徒も率先してという話にはならないと思うんですよね、そういう指導を教育委員会で話していきたいなと思います。

○細谷委員

よろしくお願いいたします。

○管理課長

熊の関係ですが、今年春先に丸山小学校から町の農林課の方に問い合わせをして調整しているというのは聞いていたんですが、教育委員会の方で実施している部分ではないので、担当の方に確認して状況を見て対策していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○細谷委員

よろしくお願いいたします。

○教育長

前回のクマが出た際の対応について話してもらいたい。森林公園の辺りで出た時に、教育委員会でどういうふうに対応したか説明してください。

○社会教育課長

はい、森林公園のキャンプ場と各管理場に関して、指定管理している都市施設管理センターさんと本町の管理課と教育委員会で協力しまして、まず檻を設置しようということで対応しました。ただ、2、3日では効果がないので1週間程度必要だということもあって、1週間森林公園全体で閉鎖させていただきました。

それで、併せてゆめの森公園は道立なものですから、北海道も町がそういうことでしたらということで、ゆめの森公園も含めて、あの地域一帯を閉鎖という形で1週間罠を仕掛けたんですが、結果的には檻にはかからず、その際自動撮影カメラというものがあって、それを一時期設置してみました、ちょっとうまく作動しなかったのもあって、そこに訪れたかどうかの確認は確実なものとは撮れなかったですが、結果的には檻にはかからなかったという実情でございます。その後、パークゴルフ場からの目撃情報は来てないので、今のところは別のところに移動してしまったのか、最近ですと武佐の方でよく見かけられているのでそっちに動いたのかどうなのか、先ほど細谷委員の言ったように熊のことなんで、人間が計り知れないところもありますので、そういったことで今のところは協議しております。

○教育部長

熊の檻は2か所設置してどっちもかかりませんでした。個人的な話ですが、一昨日、私、熊対策の装備一式を持って森林公園の中をぐるっと歩いてみました。熊のフンはなかったのですが、2週間前に木道のところで見た足跡しかなかったのも、今のところは大丈夫なのかなと。個人的な感想ですけど。

○教育長

後は子どもたち同士で森林公園に行くとか、そういうことは各学校に周知していますので。

○義盛委員

熊の話で教育委員会と関係ないんですが、町民の方にさらに周知ってさらに徹底しているんですけど、らいふまっぷとかで最近増えたことについて。

○社会教育課長

広報紙等ではしてませんが、熊の目撃情報はホームページ、SNS 上では周知していて。

○義盛委員

実は、僕ちょうど羅臼の熊が鹿をといた時に、羅臼でお葬式があつて帰る最中だったんです。そしたらちょうど礼文町というところなんですけども、路肩に車が停まっていた、皆さん外に出て一生懸命スマホで動画を撮っているんですよ。大人の方がたちが悪いんじゃないかなと。子どもさんに周知するというのも大切なんですけど、大人の方がリスクが高いんじゃないかなと心配だったものですから、熊が決してメンタルが落ち着いているものばかりでもないですから逃げるわけでもないことを、らいふまっぷ、町の広報でも、今のうちに周知するような方策も町では必要ではないかと。教育委員会で話しても仕方ないですけども。

○細谷委員

中標津町の公式 LINE アカウントがあるんですけど、あれで結構オンタイムで流れてきてますので、あのアカウント情報をもっと周知できればいいのかなと思うんですよ。熱中症の話とか、食中毒警報出ましたよとか、すぐ上がってくるんですけど、僕も会社の皆に入らせたんですけど、町の公式 LINE って何ですかみたいな話なんで、それをもっと身近な人に伝えて、入ってもらってというのが今の時代だと一番早いかもしれないですね。

やっぱり回覧板とか情報が 1 週間遅れで届いたり、これ終わっちゃってるんじゃないのというような回覧が回ってきたりするんで、これからこういう SNS とかで上手く情報を伝達していくのかなという。結構年配、高齢の方には大変なことだとは思いますが。

○教育長

なかなか SNS で発信したり、ホームページで発信したり、いろいろなことをするんですけど、そういうのを見ない人がいたり、そういう方たちがいっぱいいるんで、こっちも困っているというのが正直なところなんですよね。

後は例えば、SNS であきれてしまうのは、大雪山で熊が近寄って来るのを黙って待って、至近距離になってスプレーを掛ける大人がいたりだとか、近くで熊がうろうろしている時に一生懸命熊鈴鳴らして逃げないでいるんで、そうい

うふうに使うものじゃないよという、そういう情報もどんどん出てくるんで、僕らも正直困っております。

○細谷委員

一番の問題は、熊が出すぎて熊の情報を警察とかに伝えるとその後の対応がめんどくさいから、連絡するのをやめたんだよねという人が増えたんですよ。結構、武佐とか養老牛に行くと熊って毎日見るんですよというぐらいの人もいらっしゃいますし、なので熊が出すぎて、いいこと悪いことって余計にエネルギーが強くなっていると思います。

○教育長

私の近所にもしょっちゅう熊の看板が立つのであまりピンとこなくなっていました。ほかに何かありますか。

○管理課長

1点、次回の教育委員会になりますが、8月末に臨時の教育委員会を予定しております。近日中に日程調整させていただきますので、またよろしく願いいたします。以上になります。

○教育長

後はほかにございませんか。事務局の方からはよろしいでしょうか。

(事務局から「ありません」の声あり)

○教育長

それでは、本日の会議日程は全て終了いたしました。
お疲れ様でした。